

# あしや

## 広報

1998年 11月15日号  
(平成10年)

### No.760

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121  
〒659-8501  
兵庫県芦屋市精道町7番6号  
ホームページ  
http://www.city.ashiya.hyogo.jp/  
メールアドレス  
info@city.ashiya.hyogo.jp



地域をつなぐ「だんじり」  
10月10、11日、にぎやかな掛け声とともに、市内を5基のだんじりが巡行し、沿道の観衆をわかせました。

### 年金Q & A

Q 20歳になったら国民年金に必ず加入するの？

A 20歳以上60歳未満の日本に居住するかたは、必ず国民年金に加入することになっています。国民年金はすべての国民に共通の「基礎年金」を給付することを目的とし、その費用を国民年金の被保険者全体で公平に負担しようという制度です。従って自営業はもろろんのこと、学生であっても加入しなければなりません。すでに企業に勤めて厚生年金等に参加している場合は加入手続きは不要ですが、それ以外のかたは市役所への届け出が必要です。なお、現在は加入の届け出をされなかった場合も法の定めにより年金手帳を送付することとなっています。

Q 制度がつぶれたりはいしない？

A 公的年金制度は国が責任を持って運営しますので、将来にわたって確実に年金がもらえます。年金制度は、年金をもらう側とその財源を負担する側との合意が大切です。そのため、年金制度は5年に1度見直しを行い、年金の水準や収入に占める保険料負担の割合などを検討し、社会情勢の変化に応じて見直しを行いながら運営されることになっています。

芦屋市長 北村 春江

### 明日のあなたを考えると…

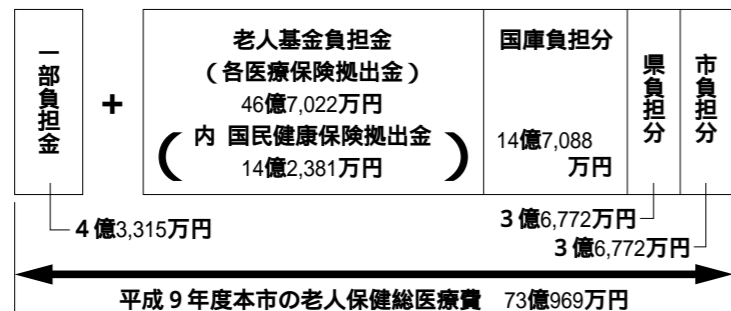
年金はあなたが主人公です

「ついさつかり」、「つい忙しい」、「こんなところで国民年金の保険料を納めないでいる」、「将来受ける年金が少なくなったり、場合によっては年金を受けられなくなったりします。現在六十五歳以上で公的年金や恩給を受け取っている世帯は、九六パーセント以上にのぼり、また、高齢者世帯のうち、公的年金や恩給が総所得の八割以上を占める世帯は、六二パーセントにもなっています。公的年金は老後の所得保障と

「ついでに」、「ついでに」、「ついでに」、こんなところで国民年金の保険料を納めないでいる、将来受ける年金が少なくなったり、場合によっては年金を受けられなくなったりします。現在六十五歳以上で公的年金や恩給を受け取っている世帯は、九六パーセント以上にのぼり、また、高齢者世帯のうち、公的年金や恩給が総所得の八割以上を占める世帯は、六二パーセントにもなっています。公的年金は老後の所得保障と

### 平成9年度に老人保健でかかった医療費をお知らせします

平成9年度の老人保健医療費は、下記のとおりです。



本人が支払った一部負担金以外の医療費は、7割を本人の加入している各医療保険、3割を国、県、市からの公費で負担しています。多くの人々によって支えられている制度です。一人ひとりが自分の健康づくりに積極的に取り組み、必要なときに正しい受診を心がけることが大切です。

問い合わせ 保険年金課医療助成係 ☎38-2037

### 平成10年 第4回市議会定例会の日程

平成10年第4回定例会は11月27日(金)に招集され、12月22日(火)までの日程で開催する予定です。本会議・各委員会の予定は次のとおりです。

- 11月26日(木)【議会運営委員会】
- 27日(金)【本会議】議案提案説明等
- 30日(月)～12月3日(木)【各常任委員会】補足説明、質疑、討論、採決
- 12月7日(月)～9日(水)【決算特別委員会】質疑、討論、採決
- 10日(木)【議会運営委員会】
- 11日(金)～14日(月)【本会議】一般質問等
- 21日(月)【議会運営委員会】
- 22日(火)【本会議】委員長報告、討論、採決等

届いていますか？市議会だより定例会のあらましや付議事件の審議結果等を掲載した「あしや市議会だより」を各定例会開催月(3月、6月、9月、12月)の翌月の30日に、朝日、神戸、産経、毎日、読売の各日刊紙の朝刊に折り込み配付しています。日刊紙をご購読でないかたで、希望のかたには郵送でお届けしています。

問い合わせ 市議会事務局 ☎38-2001

### 富田碎花賞よせて 市長からのメッセージ

36

香しい金木犀にふと足を止めた初秋から、季節は紅葉の秋に移って参りました。芦屋市の文化の秋を象徴する事業の一つとして、今年も十月三十一日、富田碎花賞贈呈式を市民センターで執り行うことができます。

## 教育のページ

このページの問い合わせは  
学校教育課 ☎38-2087)へ

### 文化の秋

豊かな充実した秋の日

2学期は、子どもたちが自分の興味・関心に応じて自己学習をし、たくましく豊かに成長していく時期です。10月には「自由研究・教育活動展」「研究発表会」が開催され、日頃の教育活動で培った力が発揮されました。



自由研究発表大会の様子

### 第19回自由研究発表大会を開催

10月3日(土)、各小中学校の児童・生徒12人による自由研究発表大会が市民センターで開催されました。

自由研究は、自分で課題を見つけ解決していく力を育てます。今回も、多岐にわたる研究課題でした。課題解決に向けて、それぞれが調査・研究した内容は素晴らしいものでした。それを、OHP、液晶プロジェクターなどを使って、一生懸命に発表する様子に参加者も感心させられました。これからも、表現の仕方にも工夫をした能力をさらに伸ばしていく機会を大切にしたいと考えています。



自由研究を発表した児童・生徒たち

研究発表者 小中学校の部	精道小学校6年生	古味 さおり
環境破壊と動物の絶滅	宮川小学校6年生	井上 博人
色による温度のちが	山手小学校6年生	西尾 佳那子
乳酸飲料が歯をとかす？	岩園小学校6年生	岡崎 麻依
パリア・フリーについて	朝日ヶ丘小学校6年生	西尾 奈々子
フルーツ電池の秘密	三条小学校6年生	西尾 真司
活性炭電池の製作	三條小学校6年生	西尾 真司
自動販売機と店で売っている飲み物の違い	潮見小学校6年生	小城 崇
野菜の保存	打出浜小学校6年生	黒田 美菜子
カビを防ぐ方法	浜風小学校6年生	島本 拓己
研究発表 中学校の部	精道中学校1年生	宮下 咲
錆(さび)の研究	山手中学校2年生	伊藤 綾子
植物から紙を作る	潮見中学校1年生	山下 正記
「緑第2住宅」の二酸化炭素の吸収と排出調査		



観覧者でにぎわう自由研究・教育活動展

「自由研究」は、学年に応じた工夫があり、「継続は力なり」という言葉どおり長期の休みにもかかわらず、身近にある材料がたくさんあり、身近にある不思議なこと、環境に興味を持って追求している作品も多く、子どもたちの鋭い洞察力に驚かされました。「教育活動展」は、各学校園が展示

### この事務所かと思つた

四月に入學した一年生が、たし算・引き算を習うようになり、それにあわせて、コンピュータが出す計算問題に答えられるようになりました。一年生は、初めてのキーの押し方がきこなく、同じ数字がたくさん出て間違っていることがありますが、使っているうちにだんだんと慣れていきます。冬になると二年生が、習ったばかりのかけ算の上達の様子を確かめるために、コンピュータを使います。この計算ドリルは十分を超えるとゲームオーバーになるようにしてあります。かけ算をきちんと覚えていると十分以内でできるはずだからです。間違いが少ないと短い時間で百点が取れるようになります。四年生以上は、ローマ字打ちで自分の作文をコンピュータで打っています。精道小学校のコンピュータは部屋の大きさをこえて十

### 花と緑と水辺のある学校

打出浜小学校



黒々とパソコンに取り組み児童(精道小学校)

毎朝登校してくる子どもたちは、校門から教室まで続く「花の道」を通ります。今年は、種を植えたり、苗を植えたりすること、子どもたちが手伝うようになりました。休み時間には、たくさんの果物の木が育つ、打小の森で秋の虫を探しています。一年生は、枯れ枝をヘクソグサの蜜に結びつけて、「パッタリ」に夢中です。その側を、飼育委員の子もたちが世話をしています。

このように、本校では、「眺める自然」ではなく、「ふれあう自然」を大切にしたいと考えています。海まで歩いて五分という立地条件を生かして、夏休みにカヌー交流会、浜辺での生活学習などを行っています。創立十七年を迎えた本校は、埋め立て地に作られています。何もなかった土地に植えられた樹木もすでに見上げるほどの並木を作っています。自然が少なくなったと言われていますが、学校内に、できるだけ自然に親しめる環境を作り出すと努力しています。今、全校生で「ピオトープ」を作る計画をしています。これは、昔は地域の何処にでもあった自然の池を再現しようとするものです。すでにイメージ図も出来上がり、作業の準備をする段階です。三月までには完成し、来年度からは生活科や新たに導入される総合学習にも利用する予定です。また、地域の皆さんの憩いの場所としても利用できるようにと考えています。



農園で遊ぶ鴨やアヒル(打出浜小学校)

